

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2013年2月14日～2月20日)

平成 25 年(2013 年)2月22日

H	E	A	D	L	I	N	E	S
<p>政治</p> <p>クファシニエフスキ元大統領、ミレルSLD党首と会談 下院、財政協定条約批准決議案を可決 トウスク首相、内閣改造を発表 シコルスキ外相とケリー米国務長官との電話会談 シェモニャク国防相、スイス訪問 コモロフスキ大統領がリトアニアを訪問 V4+北欧、バルト諸国外相会合 シコルスキ外相がモルドバを訪問 東方パートナーシップに関する外務理事会</p>								<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！</p> <p>問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>
<p>経済</p> <p>新副首相についてエコノミストと企業経営者で評価が分かれる 1月のインフレ率が1.7%に低下 消費が減少し貯蓄が増加する傾向 労働市場、雇用、賃金ともに低迷 1月の鉱工業生産が上昇に転ずる ヴォツワヴェクに新たなシリカ製造工場 自動車部品の輸出が拡大 アルセロール・ミッタル社がポーランドに1億ユーロを投資 ポーランド国有鉄道が7億ズロチの純損失 ポーランド航空(LOT)が1億5千万ズロチの純損失 ガス・パイプラインのバルト諸国との接続はリトアニアのLNGターミナル建設次第 コンパニア・ヴェングロヴァ社の発電事業を担う合弁会社のパートナーは5月選定予定 LitPol国際送電線の重要設備をABB社が供給 環境省がシェールガス開発関連法案を公表</p>								
<p>大使館からのお知らせ</p> <p>平成25年度分教科書の配布について テロの可能性に関する注意喚起 ヴロツワフにおける領事出張サービスについて ハーグ条約(国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約)について 東日本大震災義捐金受付について 文化行事・大使館関連行事</p>								
<p>在ポーランド日本国大使館 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm</p>								

政	治
内	政

クファシニエフスキ元大統領、ミレルSLD党首と会談【14日】

14日、ミレル民主左翼連合(SLD)党首は、クファシニエフスキ元大統領と会談し、将来の左派政党再建に関する議論を行った。双方で左派の定義につき相違があったものの、協力を継続していくことで合意された模様。

下院、財政協定条約批准決議案を可決【20日】

20日、下院でポーランドの財政協定条約批准決議案が賛成多数で可決された。同決議案に反対した

野党「法と正義」(PiS)は、同決議はポーランド国家の主権に関わる問題であり、議会の3分の2の賛成票もしくは国民投票にかける必要があり、同手続きは憲法違反であると非難。

トウスク首相、内閣改造を発表【20日】

20日、トウスク首相は閣僚会議において、ロストフスキ現財務相を副首相兼財務相に格上げし、アラブスキ首相府長官(スペイン大使に転出予定)の後任にはチホツキ現内務相を充て、同内務相には、バルトロメイ・シェンキエヴツ氏を充てる人事を発表。

外	交
---	---

シコルスキ外相とケリー米国務長官との電話会談【14日】

14日、米側のイニシャチブにより、シコルスキ外相とケリー米国務長官が電話で会談、二国間関係、民主主義、イラン、アフガニスタン、MD、戦術核兵器等について協議した。

シェモニャク国防相、スイス訪問【15日】

15日から2日間、シェモニャク国防相はスイスを訪問。マウラー(Ueli Maurer)大統領兼国防・国民保護・スポーツ相と会談し、軍改革、共同訓練、海外任務等について協議。

コモロフスキ大統領がリトアニアを訪問【16日】

16日、コモロフスキ大統領は、リトアニア独立記念日記念式典に出席するため、リトアニアを訪問した。同大統領は、両国は、EU及びNATOを通じて同じ方向に進んでいくとの見解を示すとともに、ビルニユスで開催された在リトアニア・ポーランド人との会

合において、ポーランドは、リトアニアのポーランド人少数民族を支援していくと述べた。

東方パートナーシップに関する外務理事会【18日】

18日に開催されたEU外務理事会は、東方パートナーシップ、マリへの軍事訓練ミッションの派遣等について協議した。シコルスキ外相は、本年はウクライナと連合協定を署名するチャンスと主張。

シコルスキ外相がモルドバを訪問【19日】

19日、シコルスキ外相は、英及びスウェーデン外相と共に、モルドバを訪問、ティモフティ大統領及びフィラト首相等と会談、モルドバとEUとの連合協定等モルドバ・EU関係について協議した。

V4+北欧、バルト諸国外相会合【20日】

20日グダンスクにおいて、V4+北欧、バルト諸国外相会合が開催され、欧州危機、東方パートナーシップ等について協議した。

経	済
---	---

経済・財政政策

新副首相についてエコノミストと企業経営者で評価が分かれる【21日】

新副首相に任命されたロストフスキ財務大臣は、エコノミストからは喜ばれているがビジネス界は期待を共有していない。ノルディア銀行のチーフエコノミストは、「政府は、財政規律を維持するとの合図を発信した。副首相としてのロストフスキは、さらなる支出削減の圧力を各大臣に及ぼすことができる。ロストフスキ財務大臣は、ポーランドの信用格付けを改善させ、公的債務を効率的に削減することができたことを既に証明してきている。一方で、行政は、更に歳出が抑制されることをしばしば躊躇して

いる。また、ビジネス界は、同大臣への不満を募らせ、財政不均衡を穴埋めするための増税を非難している。また、同氏の副首相としての批評は、経済特区の発展を粉砕し、規制緩和法の障壁となる手段を持つことになり脅威である、と述べた。

下院が政府のEU多年度予算報告を了承【20日】

20日、トウスク首相は先般の欧州理事会で妥結をみた2014-2020年EU多年度予算案について報告し、下院の了承を得た。同多年度予算の下では、現行の多年度予算より40億ユーロ多い10

58億ユーロを獲得可能となる。同予算は、今後、欧州理事会の了承を得る必要がある。

マクロ経済動向・統計

1月のインフレ率が1.7%に低下【15日】

ポーランド中央統計局(GUS)によれば、1月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比で12月の同2.4%より少ない1.7%の上昇に止まった。これは2007年7月以来の低い数値で、中央銀行の設定したインフレ目標2.5±5%の下限1.5%にかなり近づく結果となった。前月比では前月と同水準の0.1%増。ちなみに、専門家の予想は前年同月比2.0%、前月比0.2%であった。

消費が減少し貯蓄が増加する傾向【18日】

2012年第3四半期は、貯蓄が伸びた一方で、2009年同期以来3年ぶりに個人消費が減少した。昨年の秋、ポーランドの家計は金融資産に261億ズロチ投資しており、一昨年秋の143億ズロチから大きく増加している。他方、家計の収入は前年同期より0.2%減、前期より1.2%減となっており、個人消費は前年同期比0.4%減となっている。消費者景況感が悪化し、賃金上昇が極めて少ないことから、消費が減少し、貯蓄が増加する傾向は今

後も続くとの見方が強い。

労働市場、雇用、賃金ともに低迷【18日】

ポーランド中央統計局(GUS)によれば、1月の平均賃金は3,680.3ズロチで、前年同月比0.4%増ながらも、前月比10.5%減となった。専門家の予想は前年同月比0.5%増、前月比10.5%減。また、1月の雇用者数は5,506,500人で、前年同月比0.8%減、前月比0.6%増となった。専門家の予想は、前年同月比0.8%減、前月比0.5増。

1月の鉱工業生産が上昇に転ずる【19日】

ポーランド中央統計局(GUS)によれば、1月の鉱工業生産は、前年同月比で12月の同10.6%減から大幅に回復し、0.3%増となった。前月比でも5.4%増。季節調整後の数値は全円同月比2.1%減、前月比1.5%増となっている。専門家の予想は、前年同月比3.0%減、前月比3.0%増であった。

ポーランド産業動向

ヴォツワヴェクに新たなシリカ製造工場【14日】

ソルベイ社(ベルギー系化学会社)がヴォツワヴェク(ポーランド中部)に7,500万ユーロをかけてシリカ製造工場を建設する。2014年第3四半期に生産を開始する予定。同工場は8万5千トンのHDS(高分散性シリカ)を製造し、PKNオルレン社の子会社のAnwil社に納入する。同工場で製造されたシリカは自動車用低燃費タイヤの製造に利用される。ソルベイ社は国際的な化学会社で、55か国に3万1千人を雇用する。

自動車部品の輸出が拡大【19日】

AutomotiveSuppliers.plによれば、2012年1-11月期のポーランドの自動車産業輸出額は前年比7.3%落ち込んだものの、自動車部品等の輸出額は62.1億ユーロ、前年比4.5%拡大した。EUでの自動車販売が下落した一方、非EU市場の販売が約6%拡大した結果である。ポーランドにとって重要な10市場のうち、5市場(ドイツ、チェコ、英国、スロバキア、ロシア)で輸出が拡大した。一方、完成車(商用車含む)の輸出は2011年比22%落ち込み49.5億ユーロとなった。自動車関連輸出に占める完成車の比率は30%で、2011年から5.

6%下落した。

アルセロール・ミッタル社がポーランドに1億ユーロを投資【20日】

西欧では、アルセロール・ミッタル社が複数の高炉を閉鎖する恐れを受けて、EUが同セクターの約36万人の労働者の救済を目的とした支援プログラムの検討を開始したところであるが、ポーランドでは同社がDabrowa Gornicza及びZdzieszowiceの製鉄所の増強に1億ユーロを投資すると同社のSamaddar 当地域責任者は述べた。また、チェコのOstrawaでの生産をポーランドに移管するとの憶測も出ている。同社は経済状況が改善したら生産を拡大することを期待している。一方、専門家からは、欧州では生産が需要を超過しているとの指摘も出ている。

ポーランド国有鉄道が7億ズロチの純損失【20日】

ヤクブ・カルノフスキ・ポーランド国有鉄道(PKP PLK)CEOは、「2012年に700百万ズロチの純損失をこうむった」と述べた。同社は、2011年に598百万ズロチ、2010年には444百万ズロチの純

損失となっている。同CEOは、「鉄道の維持管理費が更に損失を広げた。処方箋は、2000kmの未利用又は、利用が少ない路線を廃止することであり、これにより年間、60から80百万ズロチを節減することができる」と述べた。

ポーランド航空(LOT)が1億5千万ズロチの純損失【20日】

20日、下院の国有財産委員会は国有財産省によって準備された資料から、LOT社は、2012年に

157.1百万ズロチの純損益であり、2011年の145.7百万ズロチより損益額が膨らんだことを知らされた。同社営業販売は33億06百万ズロチとなり前年比5%の上昇となり、利用客数は497万2千人と前年比で7%上昇している。バニアク国有財産省副大臣は、政府によるLOT社再建計画の早期承認、同社の売却の可能性の方途を開く法律改正を要望した。LOT社に関する現行法は、同社所有者の変更が認めれていないために無効化されなければならない。

エネルギー・環境

ガス・パイプラインのバルト諸国との接続はリトアニアのLNGターミナル建設次第【14日】

ラトビアを訪問中のシコルスキー外務大臣は、ポーランドとバルト諸国が天然ガス輸送で協力することで、バルト地域のエネルギー孤立状態に終止符を打つことができると述べた。ラトビアは大規模な貯蔵施設を有し、また、ポーランドでは2014年にLNGターミナルが稼働し、バルト諸国にパイプラインを延伸することができる。同大臣はまた、プロジェクトの成功は、リトアニアがポーランドとのガス・パイプライン接続を望むか、もしくは独自のLNGターミナルを建設するか次第であると述べた。ポーランドの試算では2つのプロジェクトが同時に利益をもたらすことは不可能とされている。

コンパニア・ヴェングロヴァ社の発電事業を担う合弁会社のパートナーは5月選定予定【20日】

コンパニア・ヴェングロヴァ(KW) 鉱業会社が60億ズロチをかけてプシュチナ近郊(Pszczyna、ポーランド南部カトヴィツェの南)に建設予定の1,000MW級石炭火力発電所の建設プロジェクトは、5月に合弁会社の共同出資企業を選定する見込み。現在、中国及び韓国の企業と交渉が行われている。既にF/S調査、環境影響評価、用地買収が済んでいる。

LitPol国際送電線の重要設備をABB社が供給【16日】

ポーランドとリトアニアを結ぶ国際送電線「LitPolリンク」の建設に必要な330kVのスイッチヤード(周波数変換設備)は、83百万ユーロでABB社から供給を受けることが決まった。スイッチヤードはLitPolリンクが稼働開始する2015年末に完成する予定。LitPolリンクに係る総コストは3億7千万ユーロで、送電能力は500MW(1,000MWまでの拡大を検討中)である。

環境省がシェールガス開発関連法案を公表【19日】

環境省はシェールガス開発関連法案を公表した。行政手続きや環境に関する規則を主に扱う一方、税の問題は財務省所管であることから今回の法案には含まれていない。内容は概ね予想されたもので、手続きの簡素化、権益の獲得の際の入札制度の導入、地方自治体に支払われることになる開発利用料の値上げ、観光手続きの簡素化及び国家エネルギー資源オペレーター(NOKE)の導入である。法案は3/18まで協議にかけられる。今回の法案は、シェールガス開発に様々な恩恵をもたらすものの、投資家はNOKEが開発プロジェクトに参加することを認める要求を懸念している。

大使館からのお知らせ

平成25年度分教科書の配布について

大使館では、ポーランド在住の邦人子女を対象に、日本の小学生・中学生用教科書(平成25年度分)を配布いたします。今回の配布は、小学生用は前期分のみ、中学生用は通年分です。なお、ワルシャワ日本人学校に通学しているお子様には学校から配布されますので、今回の配布の対象とはなりません。お申し込み等の詳細については、当館ホームページ(http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/j_20130204.html)をご覧ください。

テロの可能性に関する注意喚起

1月16日、アルジェリアにおいてイスラム過激派武装集団によるとみられるテロが発生しました。今後、欧米等広域にわたり、同様のテロが発生する可能性があるため、外務省では注意喚起を行っております。詳しくは、下記HPをご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2013C021>

ヴロツワフにおける領事出張サービスについて

大使館は、3月9日(土)10時から13時までの間、Hotel Mercure Wroclaw Panorama(Pl. Dominikanski 1, Wroclaw 50-159)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/j_20121220.html

ハーグ条約(国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約)について

当館HP上に、「ハーグ条約(国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約)」に関する情報を掲載いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/haga_pamphlet.pdf

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成25年3月31日(日)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事

〔予定〕「日本文化デー」 ワルシャワ・コスプレ大会 & 第1回高校生日本語スピーチコンテスト【2月24日(日)】

在ポーランド日本国大使館、ポーランド日本情報工科大学及び日本ポップカルチャー愛好会『アニマツリ』共催の総合日本文化紹介イベント「日本文化デー～ワルシャワ・コスプレ大会 & 第1回高校生スピーチコンテスト」が開催されます。その他、日本映画の上映会(英語字幕)、日本のポップカルチャーに関する講演会、ワークショップ(おにぎり、風呂敷、折り紙、そろばん、将棋など)も予定されます。詳細はこちらです：

コスプレ大会：http://www.pl.emb-japan.go.jp/kultura/j_cosplay.html

スピーチコンテスト：http://www.pl.emb-japan.go.jp/kultura/j_speech.html

日程：2月24日(日)10:00～18:00

開催場所：ポーランド日本情報工科大学(住所：Koszykowa 85, Warszawa、電話：22 58 44 500、Eメール：pjwstk@pjwstk.edu.pl、ホームページ：<http://www.pjwstk.edu.pl/>)

〔予定〕能・狂言に関する講演及びデモンストレーション【2月28日(木)17時】

久保博山氏(能面について)、松井彬氏(能について)、茂山宗彦氏(狂言について)、リチャード・エメルト教授(能における音楽構成について)による講演及びデモンストレーションが開催されます。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話：22 584 73 00、Eメール：info-cul@emb-japan.pl、住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

〔予定〕久保博山先生による能面展【2月26日～3月29日】

在ポーランド日本国大使館、中欧能楽文化協会共催による久保博山先生による能面展が開催されます。開催期間中は平日の9時から17時までご自由にご覧いただけます。(入場無料)

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話：22 584 73 00、Eメール：info-cul@emb-japan.pl、住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

〔予定〕柔道ワールドカップ・ポーランド大会【3月2日(土)～3日(日)】

ワルシャワ市にて、ポーランド柔道協会主催による柔道ワールドカップ・ポーランド大会が開催され、各国から選手が約500名参加する予定です。

問い合わせ先：ポーランド柔道協会(住所：Raclawicka 132, Warszawa、電話：22 646 01 565、Eメール：pjudo@pjudo.pl、ホームページ：<http://new.pjudo.pl/>)

開催場所: Hala Arena Ursynów (住所: ul. Pileckiego 122 Warszawa)

【予定】第7回日本文化講座【3月6日(水)】

当館広報文化センターにて、漆修復師であるヨアンナ・コリチャシュ＝北御門氏による日本の漆に関する講演が開催されます。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。講演はポーランド語で行われます。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@emb-japan.pl, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【開催中】「忠臣蔵。47人の浪人」浮世絵展示【11月30日(金)～4月20日(土)】

クラクフ日本美術技術博物館「マンガ」にて、浮世絵展示「忠臣蔵。47人の浪人」が開催中です。

問合せ先・開催場所:

「マンガ」日本美術技術博物館(住所: ul. Konopnickiej 26, Krakow, 電話: 12 267 37 53, Eメール: muzem@manggha.krakow.pl, ホームページ: <http://www.manggha.krakow.pl/>)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 newsletter@wr.mofa.go.jp](mailto:newsletter@wr.mofa.go.jp)

(ご連絡は電子メールでお願いします。)